

3. チョーライ病院での医療技術協力

国立大学法人 筑波大学附属病院

【現地の状況やニーズなどの背景情報】

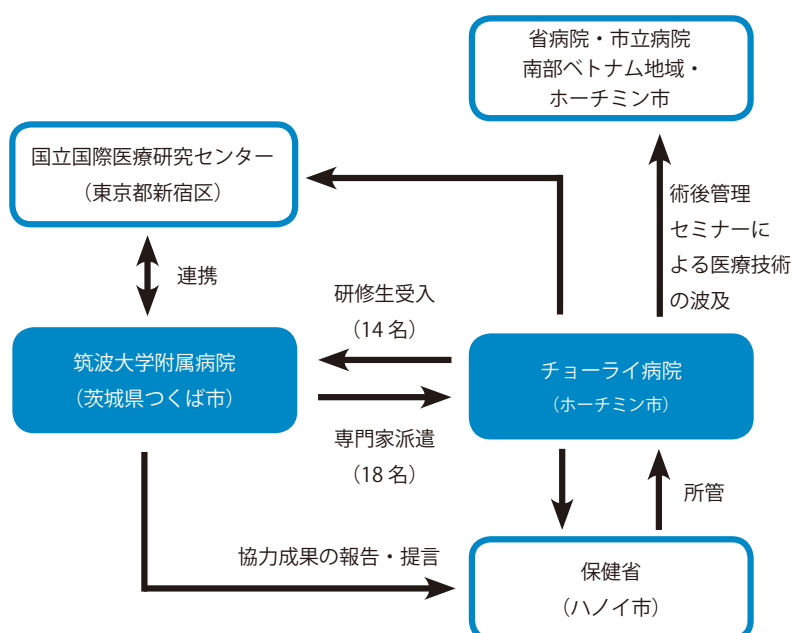
チョーライ病院はベトナム南部最大の病院で、非感染性疾患の診療は非常に多く、JICA の協力経験も豊富で診療能力は高く、省病院への研修も実施しており同病院への協力の裨益効果は高い。

【活動内容】

筑波大学附属病院はチョーライ病院と協定書に基づき長年の協力関係を築いており、外科領域、術後管理、内視鏡その他の協力を行ってきた。本事業では専門家派遣 18 名、研修生受け入れ 14 名のほか現地で術後管理セミナー開催、テレカンファレンスの実施などを行った。

【期待される成果や波及効果等】

本事業では専門家派遣と研修生受け入れという人材交流でお互いの現状を理解しつつ改善点を見出して実施を推進する形での協力であった。術後管理など技術面で新しい知識が得られ、今後実践する素地ができた。また患者中心に診療する態度が伝えられたと期待できる。



<研修実施結果>

<研修受け入れ>

8月：1名；消化管外科
9月：5名；ICU、ICU 看護、脳外科 2、
肝胆膵外科
10月：7名；ICU、ICU 看護、研修管理、
内視鏡、心臓血管外科 2、肝臓外科
11月：1名；循環器内科

<専門家派遣>

7月：1名；研修管理
8月：2名；ICU 看護 2
10月：1名；循環器内科
11月：13名；ICU、ICU 看護、心臓外科 3、
脳外科 2、消化器外科 2、研修管理 2、
内視鏡 2
12月：1名；肝臓外科

<術後管理セミナー開催>

11月：対象は南部省病院・ホーチミン市立病院、
チョーライ病院等

<遠隔医療カンファレンス>

10月に2回実施；心臓血管外科、肝臓外科



ベトナム南部の拠点病院・ チョーライ病院での医療技術協力

協力期間: 2015年6月25日 – 2015年12月31日

主な協力:

1. 筑波大学附属病院スタッフのチョーライ病院への派遣
2. チョーライ病院スタッフの筑波大学附属病院での受け入れ
3. 技術協力と人材交流
4. セミナーの実施
5. 遠隔医療 (Tele-Conference) の実施



プロジェクトの目標

<短期目標>

チョーライ病院のスタッフは専門分野の知識技術を深め、研修活動を行い南部ベトナムの医療活動の向上に貢献する。一方、筑波大学附属病院側はチョーライ病院の活動を支援するとともに多くの症例を経験することにより視野を深める。

<長期目標>

ベトナム南部の拠点病院であるチョーライ病院への医療技術協力を通して、非感染性疾患中心の疾病構造に変化しつつある南部ベトナムの医療水準の向上に寄与し、同地域ひいては東南アジアの住民に対する医療提供の改善に貢献する。



期待される成果

1. チョーライ病院における医療技術の向上、特に手術を含めた治療技術、術後管理の改善により、患者サービスが向上する。
2. 上記、診療は主にICU、ICU看護、心臓血管外科、脳外科、消化器外科の分野で改善する。
3. その他に、内視鏡診断・治療分野、循環器内科分野においても技術向上を通して患者サービスが改善する。
4. これらの分野における協力の成果を南部ベトナム地域の医療従事者に波及する。ことにより同地域の医療水準が改善する。
5. 本大学附属病院との協力を通して各診療分野における情報共有、教育活動を促進する
6. 本大学附属病院での協力を通して「患者中心医療」の医療文化をチョーライ病院医療従事者が獲得する
7. 本大学附属病院医療従事者は、協力を通してチョーライ病院で多くの症例を経験し、同病院の診療の改善につなげる。





協力分野

1. ICU
2. ICU看護
3. 心臓血管外科
4. 脳神経外科
5. 消化器外科
 - ① 消化管外科
 - ② 肝胆膵外科
 - ③ 肝腫瘍科
6. 循環器内科
7. 消化器内視鏡部



術後管理セミナー

<目的>

手術患者の短期予後改善のために、関係する病院スタッフが術後管理の改善により注意を払った診療を行う。

<日程>: 2015年11月12日

<対象>: 対象分野のチョーライ病院および南部ベトナム、ホーチミン市の病院スタッフ

<参加人数> 150人

<発表・協議>

1. 筑波大学附属病院スタッフ
2. チョーライ病院スタッフ
3. 南部ベトナム省病院、ホーチミンの病院スタッフ

<発表テーマ>

対象分野の術後管理、術後患者ケア



遠隔医療カファレンス(Tele-conferences)

<目的>

チョーライ病院と筑波大学附属病院のスタッフがそれぞれの経験を発表し意見交換することにより、それぞれの診療内容、診療管理の向上に寄与する。

<カンファレンスの開催頻度>

1回／2か月：協力期間中に3回予定

<参加者>: 対象分野のスタッフ

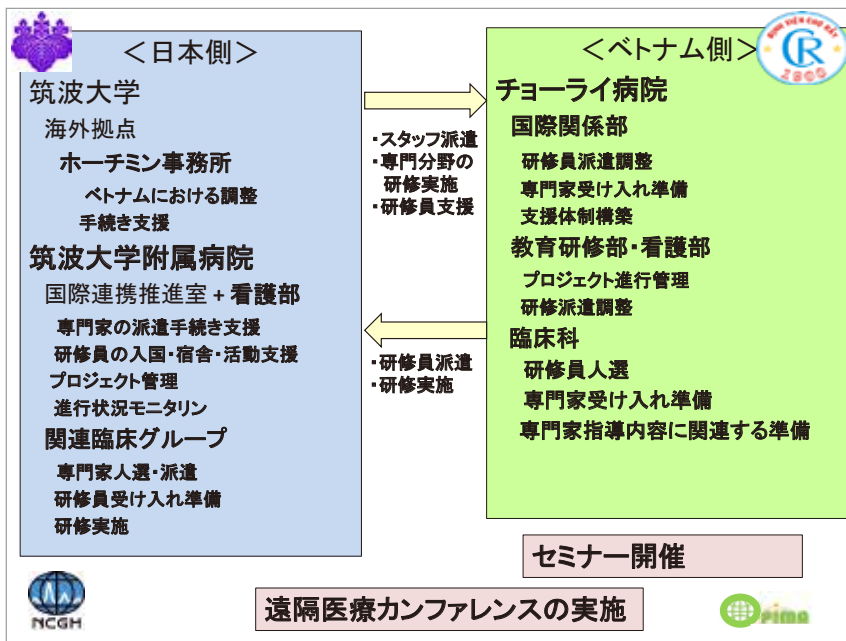
<分野>

1. 心臓血管外科: 2015年10月
2. 消化器外科(肝腫瘍)... : 2015年10月
3. 脳神経外科 : 2015年12月予定→2016年2月に延期
4. ...

<打ち合わせ>

1. 双方はメール等によりテーマ、発表内容、発表者を決めておく
2. 双方1～2演題と協議
3. 時間は2時間以内





筑波大学附属病院からの派遣

	Jul	Aug	Sep	Oct	Nov	Dec
1 ICU		→			→	
2 心臓血管外科					→	
3 脳神経外科					→	
4 消化器外科				X	→	→
5 循環器内科				→		
6 光学医療診療部(内視鏡)					→	
7 プロジェクト管理	→				→	
8 術後管理セミナー					★	
9 遠隔医療カンファレンス				●	●	●

チョーライ病院からの研修員受け入れ

	Jul	Aug	Sep	Oct	Nov	Dec
1 ICU: 医師・看護師			→	→		
2 心臓血管外科			→	→		
3 脳神経外科			→	→		
4 消化器外科		→	→	→		
5 循環器内科				→	→	
6 内視鏡部					→	→
7 研修管理				→		
8 術後管理セミナー					★	
9 遠隔医療カンファレンス				●	●	



筑波大学附属病院専門家の活動

<派遣期間>原則1週間(→平均5.9日)

<TOR>

1. 技術指導
2. 術前・術後管理指導
3. 専門分野の講義
4. 診療科での会議・カンファレンスにおける助言
5. 提言
6. 報告書作成
7. エッセイ執筆
8. セミナーでの発表



チョーライ病院からの研修員の活動

<期間>原則2週間(→平均12.7日)

<TOR>

1. 専門分野の技術習得
2. 術前・術後管理の研修
3. チョーライ病院での活動紹介の発表
4. 診療科での教育研修活動を学ぶ
5. 診療科間の協力体制を学ぶ
6. 業種間の協力体制を学ぶ
7. 報告書作成(活動計画含む)
8. エッセイ執筆



事業の成果(達成度)

1. 医療技術の向上、術後管理の改善 → ほぼ達成
2. ICU(看護を含む)、心臓血管外科、脳外科、消化器外科分野の術後管理改善 → 80%
3. 内視鏡、循環器内科分野の技術向上 → 80%。
4. 成果の南部ベトナム地域医療従事者への普及 → 50%
5. 情報共有、教育活動の促進 → 30%
6. 「患者中心医療」の医療文化の普及 → 20%
7. UTHスタッフのチョーライ病院で多くの症例を経験 → 10%

※ただし、6か月という限られた期間での活動を通した主観的達成度





事業実施の際の課題と対応方針

- 1) 派遣予定の変更
→他のスタッフで対応
- 2) 派遣期間の短縮
→かなり前から計画し日程確保をお願いする
- 3) 一部研修員の英語能力不足
→予め語学力チェック、条件を厳しく
- 4) 研修員宿泊確保
→かなり前から計画
- 5) セミナーの際のベトナムの他病院からの旅費
→定額化



今後の課題及び方針

1. チョーライ病院とはMOUを結んでおり当大学病院としても小規模でも協力を継続する
2. しかし病院予算のみでは困難な部分が多く、今後も**外部資金を有効活用**
3. **テレカンファレンス**は拡大して推進
4. 筑波大学附属病院の**若手のスタッフ**を比較的長い期間(1か月程度)派遣
5. 研修員の**英語**コミュニケーション能力の条件化
6. 今後は、**国立国際医療研究センター**などと協力してより効率的、効果的な協力を



術後管理セミナー(2015年11月12日)



術後管理セミナー開会挨拶(玉岡副院長)



術後管理セミナー座長(平松教授・Tien副院長)



術後管理セミナーICUディスカッション
(伊野木ICU看護師長・
星県立中央病院麻酔科医長・Dong麻酔科医長)



術後管理セミナー総括(秋山)

術後管理セミナー会場



術後管理セミナー終了時集合写真



筑波大学附属病院専門家のチョーライ病院での指導



心臓外科手術指導(平松教授)



内視鏡指導(奈良坂講師)



ICU看護指導(柴副看護師長)



術後標本整理指導(榎本講師)

カンファレンスでの指導・講義



消化器外科(肝胆膵外科)
での講義
(小田教授)



消化器外科(消化管外科)
のカンファレンス
(榎本講師)



心臓血管外科 朝のカンファレンス
(平松教授・榎本講師・古垣技師)

チョーライ病院スタッフの筑波大学附属病院での研修



ICU看護研修(Ms.Vy ICU看護師)



心臓外科研修(Dr.Khiem, Dr.Uyen)



腹腔鏡下手術見学(Dr.Tho)

チョーライ病院スタッフの筑波大学附属病院での研修



教育研修に関する見学(Truong副院長)



消化器外科の遠隔医療カンファレンス)



研修中のDr.Tho, Dr.Khiem, Dr.Vuと筑波大学附属病院を訪問したホーチミン医科薬科大学Tuan学長ら



ICU研修の修了証書を渡す水谷教授と受け取るDr.Tien)